

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

### 【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	凍結した自動車専用道路上での救急支援活動(安全管理)中に二次災害に巻き込まれそうになった事案
3. 体験した事例の中心的要素	凍結した自動車専用道路上で短時間に数箇所ですリップが原因の交通事故が多発した。その内の1件、車両4台のスリップ事故に、救急隊と救助隊が同時出動した。現場到着後、直ちに救助隊が交通整理をし、救急隊の支援(安全管理)を実施した。情報収集及び傷病者観察を実施した結果、負傷者が居ないことが判明したため、事故関係者とともに道路路肩にて、警察官の到着を待っていたところ、交通整理を無視した走行中の車両がスピンを起こし、隊員が跳ねられそうになった。
4. 体験した事例の原因・理由	交通事故が多数発生し、警察官の未到着の中で、少数隊での広範囲における現場活動を実施したため、走行中の運転手に誘導状況が伝わらなかった。また、自動車専用道路の合流地点であり、全面通行止めにするのが困難であり、凍結がわからない運転手が高速で走行していた。

### 【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。
------------------	--------------

### 【体験した事例について】

1. 発生日時	平成21年12月18日 午後9時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：凍結した自動車専用道路
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	死亡していた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	交通事故
7. 事例体験時の活動	救急現場活動終了時、\[\]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他：情報収集及び観察
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	これまでに1, 2回程度体験している。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[40]歳、勤続年数[15]年、現場経験年数[13]年、階級[消防司令補] 同様の活動 [初めて]、任務 [車長]
○当事者B	年齢[42]歳、勤続年数[16]年、現場経験年数[16]年、階級[消防士長] 同様の活動 [初めて]、任務 [機関員]
○当事者C	年齢[49]歳、勤続年数[31]年、現場経験年数[31]年、階級[消防司令補] 同様の活動 [初めて]、任務 [車長]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	当事者Bに交通整理を指示	
経過2	当事者A	当事者Cに交通整理を実施した旨を伝える	
経過3	当事者A・B	交通整理を実施開始	
経過4	当事者C	傷病者の観察開始	
経過5	当事者C	傷病者が居ないのを確認。路肩に退避。	
経過6	当事者B	走行中の車両に車線変更及び減速を指示	
経過7		走行中の車両がスピン	
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



- 事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思えるか？
- ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思えるか？

危険情報を把握、予見できた。避難退避がうまくいった。たまたま、事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	はい
・必要とする装備・資機材がなかった。	はい

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭い場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	はい
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	はい

○その他

l. その他の理由があった。

警察官の到着が、大変遅れた。
----------------

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

